

【水上村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

水上村では、令和6年度に「第6次水上村教育振興基本計画」を策定し、重点目標の一つとして「確かな学力の育成」を掲げている。このなかで、1人1台端末を積極的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで「ICT 活用能力」や「主体的・対話的で深い学び」の実現を目標としている。

この目標の実現に向けて、学校や生徒の実情を踏まえた上で、ICT を活用した新たな教材やアプリ、学習活動を積極的に導入し、児童生徒の資質・能力の育成を推進していく。

2. GIGA 第1期の総括

本村の学校では国の GIGA スクール構想を受け、令和2年度に学習者用端末、タブレットの充電保管庫、各小中学校に無線 LAN ルーターを整備した。また、貸出用のモバイルルーターの整備や、インターネット接続世帯への通信費の補助制度を導入し、すべての家庭におけるネットワーク環境の確保を行うことにより、家庭学習における端末の利活用促進に繋がった。これにより、GIGA 第1期では、すべての児童生徒が、授業内や家庭学習においても ICT 活用が日常的に行えるようになった。さらには、全校において、令和3年度に日本教育工学協会による学校情報化優良校の認定を受け、教育の情報化を推進している。

一方、児童生徒の常時利活用により端末の故障や破損など、端末の管理の負担が年々増加した。

今後は、計画的な端末の更新を行い、児童生徒、教員における情報モラルや ICT 機器活用に関する研修をこれまで以上に実施し、児童生徒一人一人に合わせた個別最適な学びの充実を図る。

3. 1人1台端末の利活用方策

水上村では、GIGA スクール構想第 2 期において、端末を更新し、児童生徒1人1台の端末環境を引き続き維持する。その効果的な利用促進に向けて、以下の取り組みを進めていく。

(1) 1人1台端末の積極的活用について

学校の個別課題に応じた ICT 活用に関する研修等を実施するとともに端末の積極的な活用について指導助言を行う。

また、ICT 支援業務を継続し、引き続き教職員や児童生徒の支援を行う。

(2)個別最適・協働的な学びの充実について

1人1台端末を活用し、児童生徒の課題解決能力や国際感覚、英会話能力の向上を目指していく。AIドリルの導入により、個別に適した学習環境を提供し、学習習慣の定着と学力向上に取り組みを検討する。また、今後はデータの可視化を活用して個別最適な指導を実現し、教職員の事務負担を軽減して児童生徒と向き合う時間の確保を図る。

(3)学びの保障について

全ての児童生徒が平等に教育を受けられるよう、ICT端末を活用した授業を推進している。感染症や自然災害、不登校、障がいのある児童生徒等、特別な支援を要する児童生徒に対して、オンラインで授業を配信するなど、ICTを活用し、引き続き、切れ目のない学びを保障していく。